

視認ベストで活動周知・従業員の意識向上

タイトル	視認ベストで活動周知
実施内容	当社では、月初の全体朝礼時に安全衛生（全国労働安全週間等）に係る活動のキックオフを行っています。事務所入口や食堂など、比較的人通りが多い場所に活動テーマを掲示していますが、実際に作業を行う場所からは離れてしまう為、活動意識の低下が懸念されていました。※パトロールをしている際も、従業員からはどのようなパトロールを行っているのか分かりづらい。そこで、現在どんな活動期間なのかを分かりやすいようベストに内容を装着しました。
効果	災害発生時に事故防止や救助隊員と救助が必要な人とを区別するために使える視認グッズを横展開。A4判の紙にプリント又は手書きしたものを表面に差し込み、表示させる事で活動テーマや内容を周知しやすくなりました。※ひと目でどんな活動をいつまで行っているのか一目瞭然。
アピールポイント	従業員は日本人だけではないことから、ベストの裏側は外国語（インドネシア従業員）で活動を周知しています。また毎日、工程を回ることによって従業員の意識が継続されます。
社員の声	「どんな活動をいつまで行っているのか一目瞭然であり、期間中は更に安全衛生に対しての意識が高まる」などの声をいただきました。

【通常ベスト】



【通常ベストパトロール】



表：日本語



裏：インドネシア語

